

## 明洋中学校から

平成27年度も残り一か月となり、明洋中学校の生徒たちも各学年のまとめとして、充実した学校生活を送っています。

3年生にとっては、三年間の中学校生活の締めくくりと、進路の実現に向けてラストスパートをしています。

### ◇保育体験をしました

1年生は「もとまち保育所」、「こどものへや」の協力を得て、家庭科の授業の一環で「保育体験」を実施しました。



大半の生徒たちは、小さな子どもたちと接することが初めての経験で、初めは戸惑いながら接していましたが、時間が経過するにつれてお互いコミュニケーションもとれるようになり、楽しそうに交流をしていました。あっという間に時間が過ぎ、終了時にはお互い名残惜しそうに別れを惜しんでいました。

### ◇校内マラソン大会を開催しました

2月1日に、大雪で延期となっていた、恒例の校内マラソン大会を開催しました。

男子4.6km、女子3.1kmの天神崎周回コースで、最後まで走りきる持久力や最後までやり遂げる精神力を養うこと、全員が大会出場や運営に参加し、共に学び共に高めあうこと、学級の連帯を深めることを目的として実施しました。

校内マラソン大会では個人の記録のほか、参加者全員の平均順位を競い合う団体戦(学年別クラス対抗戦)を実施し、生徒のみなさんは熱のこもった力走を見せてくれました。



当日、地域、保護者のみなさま方から、生徒たちに温かいご声援をいたしましたことお礼を申しあげます。

### ◇中学生議会に参加しました

2月13日に、田辺市合併10周年記念事業の一環で実施された、「田辺市中学生議会」が田辺市役所の本会議場で開催されました。

田辺市内の中学校(14校)から17名の生徒が参加し、本校から生徒会を代表して、2年生の濱本琳太郎君と田中希実さんが参加しました。

濱本君は副議長として司会進行を努め、田中さんは5番目の登壇者として、「地域との連携」について、本校の取り組みを紹介しながら質問をしました。

各中学生議員から市政に対する14の質問があり、真砂充敏市長、中村久仁生教育長からそれぞれの答弁がありました。

質問・答弁が終了した後、中学生議会から「地域が元気な田辺市、災害に強い田辺市、子どもや高齢者に優しい田辺市」をめざし、市内の中学生が力を合わせまちづくりに参加していくことを提案し、議会が閉会しました。

厳粛な場において、緊張したことと思いますが、濱本君、田中さんは立派に大役を果たしてくれました。この経験を、今後の生徒会活動にいかしてくれることと思います。



## 中部公民館だより

平成28年3月号

発行：田辺市中部公民館

田辺市中部公民館事務局

〒646-0036

田辺市上屋敷一丁目2-1 (田辺第一小学校内)

館長 橋 熱 主事 宮原 政典

TEL 22-0009 FAX 34-2914

## 中部公民館

### 春季グラウンドゴルフ大会を開催します

日時：3月21日(月・祝)午前9時から

※午前8時50分までに会場に集合してください

#### 場所：田辺第一小学校 グラウンド

■チーム編成：4名1チーム(当日編成します)

■申込み：当日、会場にて受付けます。

■表彰：全8ホールを2巡し、個人成績により  
1位から3位までを表彰します。  
(ホールインワン賞も用意しています)

■参加料：無料

※雨天の場合は中止します。

中止が予想される場合のお問い合わせ  
は、当日の8時以降に中部公民館まで  
お願いします。

※自動車の駐車できる台数に限りがあ  
りますので、できるだけ徒歩か二輪車  
でお越しください。

#### 紀州てまり初心者講習 受講生募集

中部公民館サークル「紀州てまり趣味の会」では、4月24日(日)から毎週1回(全10回程度)の紀州てまり初心者教室を開講します。

在住地域・年齢などの制限はありません。どなたでもご参加ください。

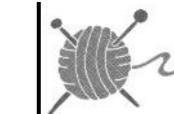
■日程：初回教室は4月24日(日)午後1時から  
※2回目からの日程は、初回教室で参加された方の希望を考慮して決定します。

■会場：中部公民館

■会費：2,000円(全10回分)※材料費は別途必要

■申し込み方法：往復はがきに住所・氏名・連絡先(電話番号)を明記のうえ、下記までお申し込みください。※3月18日(金)必着

【申し込み先】〒646-0036 和歌山県田辺市上屋敷一丁目2-1 中部公民館



#### 編物サークル生徒募集の ご案内

中部公民館サークル「編物サークル」は、新規生徒を募集中です。

編物サークルでは、生徒が題材を決めて好きなものを編みます。講師先生が編み方を教えてくれますので、編物がはじめての方から、難しいものに挑戦したい方までどなたでもご参加ください。

■開講日：毎月第2・第4火曜日

■時間：午後1時30分から

■会場：中部公民館 ロビー

編物に興味のある方は体験かたがた、ぜひ一度ご来場ください。

【問い合わせ先】

中部公民館：22-0009

#### 明るい笑顔まちいっぱい運動 あいさつ・声かけ運動定期運動日程

3/1(火)

時間：午前7時30分～8時 場所：田辺第一小学校 正門及び裏門前ほか

学校・家庭・地域が一体となった安全なまちづくりを進めるため、みなさんのご協力をお願いします。



# むかしのあそび大会

## ～むかしのあそび名人になろう～



2月5日、田辺第一小学校1年生の授業で『むかしのあそび大会』を開催しました。

児童は、地域のみなさんから、こま回し・けん玉・お手玉・あやとりなどのむかしのあそびを教えてもらいました。

児童たちは、むかしのあそびを楽しみながら、成功したときの達成感や、上手くできなくても、辛抱強く継続して取り組むことの大切さを学んだと思います。

授業にご参加いただいた地域のみなさん、ありがとうございました。



お手玉



メンコ



あやとり

## 地域のみなさんに、昔の生活について教わりました

田辺第一小学校 3年生社会科授業

2月4日に洗濯板を使った洗濯体験、2月8日には木炭を使った火おこし体験を、地域のみなさんを講師に招き実施しました。

児童は、洗濯板の使い方を講師先生から教わりながら、それぞれ持参した靴下を洗濯しました。

体験授業を通して児童たちは、洗濯板を使った手洗いが洗濯機を使用した場合と比べて、①洗濯物が少ない場合は、洗濯機より早く洗えること②使用する水が少なくて済むこと（節水）③電気を使わない変わりに、人間の力が必要であること。の3点に気づきました。

火おこし体験では、マッチの使い方から、木炭に火をつけるまでの手順を教わり、自分たちが苦労しておこした火を使って、お餅を焼いて食べました。授業の最後に地域の方から「火（マッチ）は便利なものですが、火事の原因にもなる危険なものもあるので、火遊びは絶対しないようにしてください。」との言葉に、児童たちは真剣に耳を傾け、気持ちを引き締めていました。

児童たちは、地域のみなさんと一緒に授業に取り組むなかで、昔の生活の不便さを体験し、地域のみなさんの体験談などを聞かせていました。現在の便利な生活が『あたりまえ』ではないことを知り、不便な環境下でも生きるための知識と技術を学びました。

授業に参加いただいた地域のみなさん、ご協力ありがとうございました。



洗濯板体験



火おこし体験

片町、本町、紺屋町共催企画

## 体験型防災学習会を開催しました

1月24日（日）に、中部公民館の大集会室で、片町、本町及び紺屋町の3町が合同で、防災学習会を開催しました。

最初に、中部公民館主事（防災士）が、『身近な防災』をテーマに、普段から災害に備える必要性と、非常持ち出し品や避難する際の注意点などについて、お話をさせていただきました。その後、避難所で使用する、ダンボール間仕切り（右下写真）の組み立て体験をしました。

早速、3班に分かれて、設計図を見ながらダンボール間仕切りを組み立て始めますが、最初はうまく出来ません。ですが、作業が進むにつれ、指示する人や組み立てる人、それを支える人といったように、自然と役割分担が出来きます。すると、作業は急速に進み出します。

完成した間仕切りの中で、実際に寝たり座ったりしていただくと、「床の硬さが気になる。」「二、三日だったら我慢できそう。」「以外と広く感じる。」などの感想が聞こえています。その中でも、「ダンボールとはいえ、有るのと無いのでは大違い、プライバシーって大切やな。」という感想がとても印象的でした。

最近は、異常気象の言葉どおり、いつどのような自然災害が発生するか分かりません。このように町内会が中心となって学習会を開催し、いざという時のために、正しい知識と技術を身に着けることは、とても重要なことだと思います。

体験型学習会に、ご参加いただいた地域のみなさん、本当にありがとうございました。



## 中部地域の町を訪ねて 今福町

2月3日に、田辺第一小学校6年生の児童が「江戸のまちへタイムスリップ」と題して、中部地域の歴史について調べた学習成果を、地域の方たちに発表する公開授業がありました。発表の内容は素晴らしく、明治維新の後、城下町が再編されて現在の町名になった由来や田辺祭などについて、詳しく説明していました。その発表を聞いて、少し地域について調査してみました。

やぶさめ

450年余の歴史ある「田辺祭」ですが、明治以降は、武家屋敷のあった町は流鏑馬を担当し、城下町であった各町は笠鉾（お笠）を担当しています。

流鏑馬は、上屋敷、中屋敷町、下屋敷町、新屋敷町と今福町の5町が交代で、それぞれ5年に1度担当します。何故、商店街の今福町が笠鉾ではなく、屋敷町とともに流鏑馬を担当しているのでしょうか。その理由について、今福町町内会の村田貞夫会長にお伺いしました。

「地籍上湊村に属した旧田辺の城下町のうち、孫九郎町、勝徳寺町、代官町、新町の4町が、明治4年8月15日に合併して今福町と称されるようになり、田辺の市中に組み込まれました。

ちょう

今では、今福町と言えば「銀座」とも呼ばれるように商店街の印象が強いのですが、昔は武家屋敷があったようです。そんな歴史の流れの中で、田辺祭では流鏑馬を担当させていただいています。今福町には笠鉾はありません。」とお話をくださいました。



昨年の流鏑馬の様子（今福町）  
写真提供：村田スタジオ

※参考文献：田辺藩史、田辺県史、田辺市史